

～2014年3月期決算説明会資料～



2014年 5月29日

アイホン株式会社

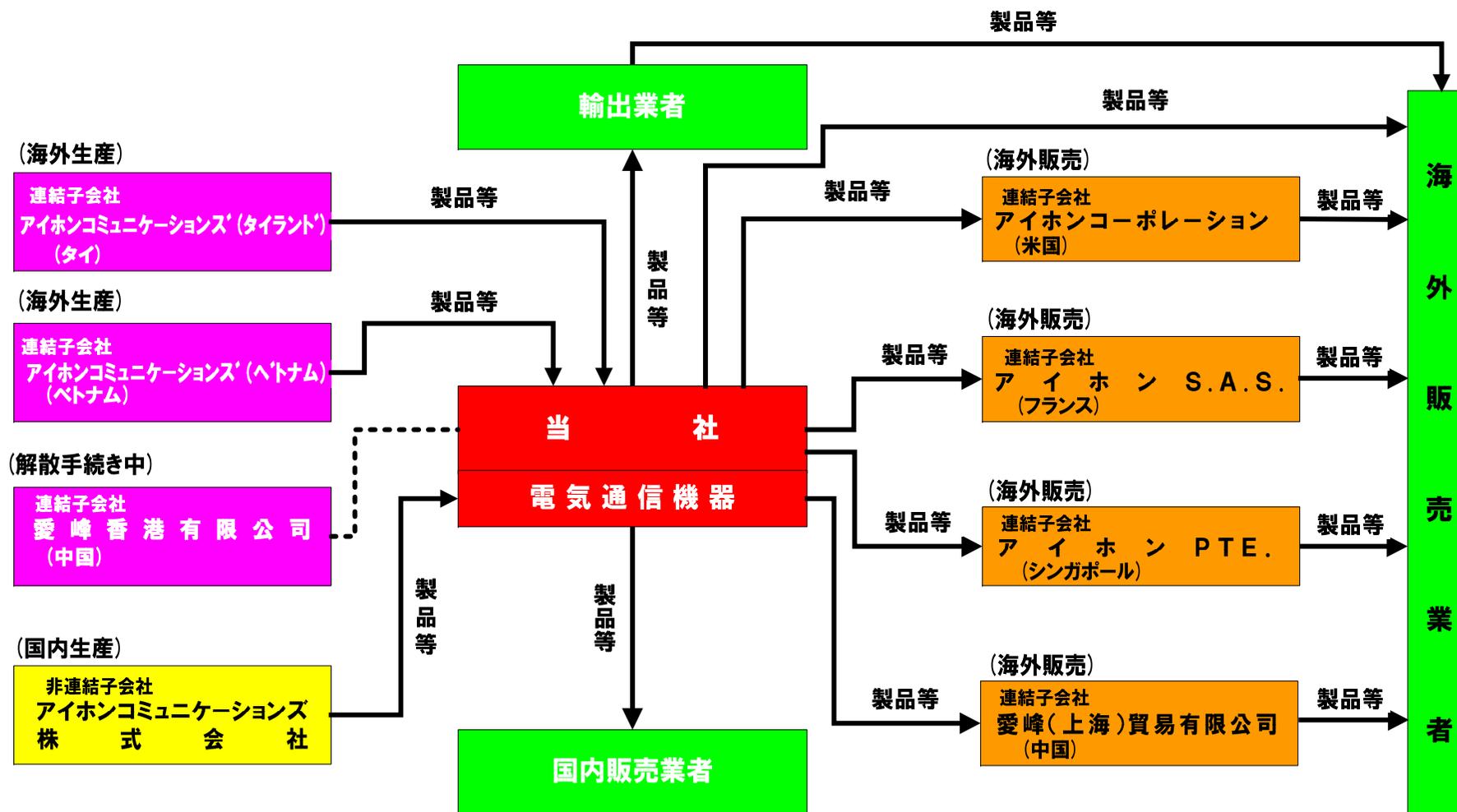
1. 連結決算の概要P.2
2. 事業概要P.3
3. 2014年3月期決算報告P.5
4. 2015年3月期業績見通しP.17
5. 研究開発の状況P.18
6. 生産体制の状況P.19
7. 株主還元P.20
8. 中期経営計画P.22
9. 経営の方向性P.24
10. トピックスP.25

2014年3月期 連結決算のポイント

- ◆ **売上高: 425億5百万円** (前期比 +15.2%)
国内リニューアル市場と海外市場での売上増加
- ◆ **営業利益: 33億8千4百万円** (前期比 +40.9%)
コスト競争力のある新商品の市場導入と国内外でのコストダウンの推進
- ◆ **経常利益: 36億2千3百万円** (前期比 +53.1%)
営業利益の増加と、為替差益の計上
- ◆ **当期純利益: 20億6千万円** (前期比 +47.4%)
経常利益の増加と特別損失の発生

- ・売上高においては、過去最高を更新。
- ・利益においても前期を上回る。

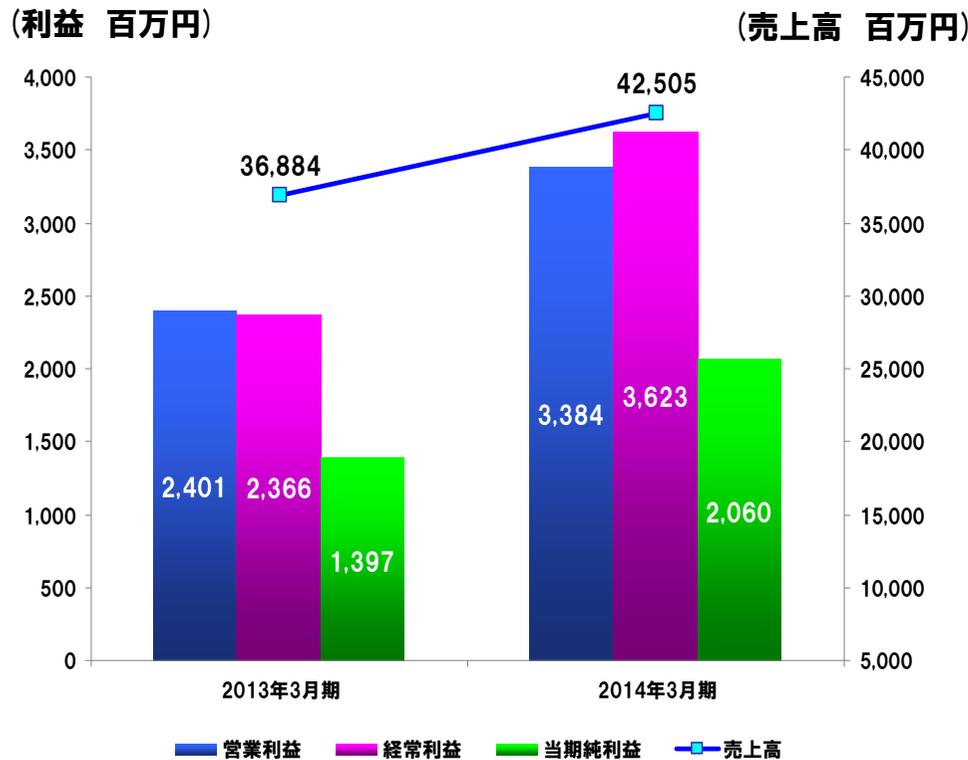
事業系統図（2014年3月現在）



ネットワーク(2014年3月現在)



2014年3月期 連結決算実績



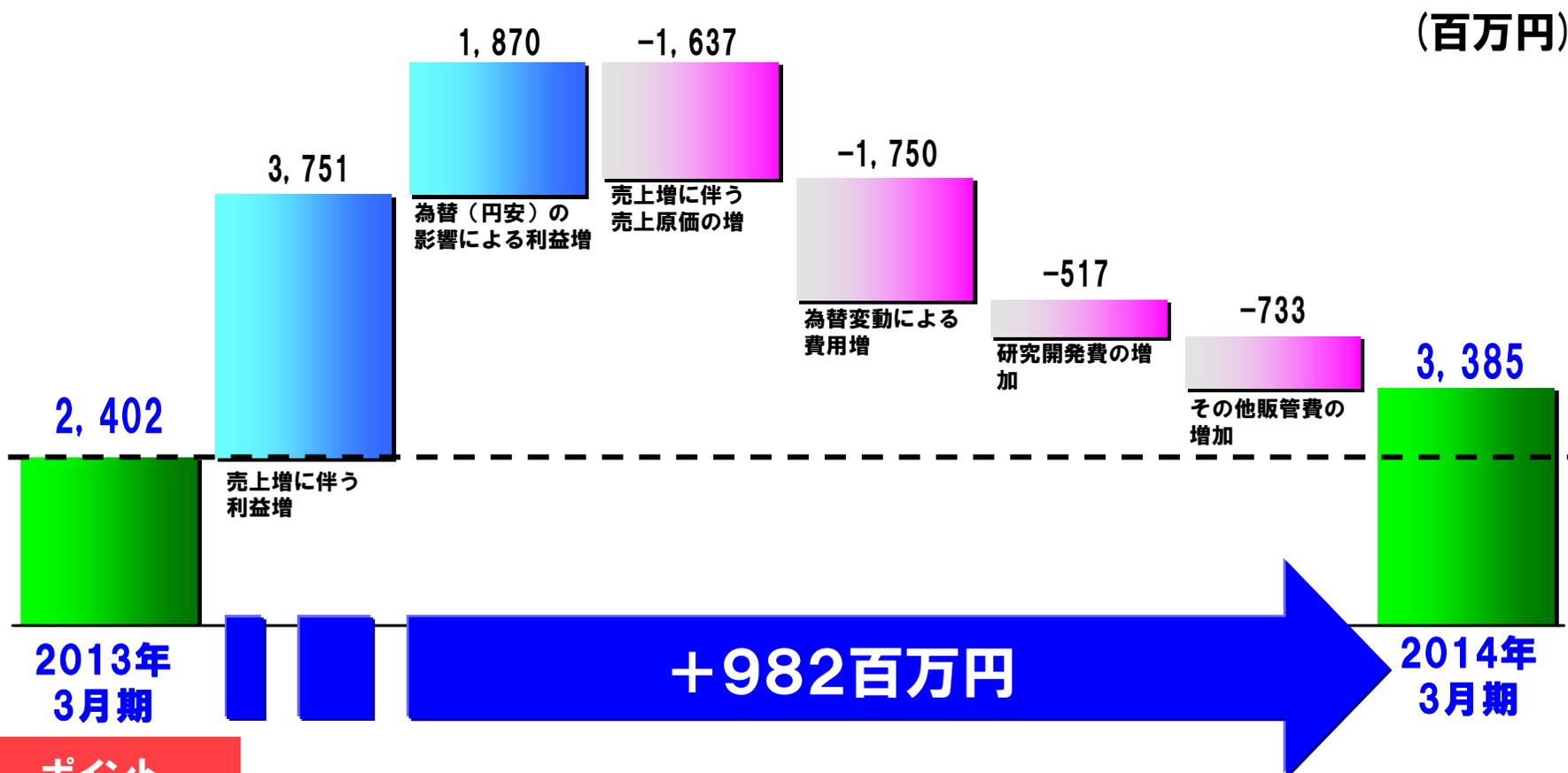
	2013年3月期	2014年3月期
売上高	36,884	42,505
営業利益	2,401	3,384
経常利益	2,366	3,623
当期純利益	1,397	2,060

<ポイント>

- 増収要因は、国内のリニューアル市場と海外市場での売上増加
 - 国内において集合住宅のリニューアル売上が前期比24.4%増と大幅増加
 - 海外の主力市場である北米と欧州における売上高が現地通貨ベースにおいて前期に引き続き過去最高
- 増益要因は、コスト競争力のある新商品の市場導入効果及びコストダウンの推進により増益

◆ 連結売上高	: 前期比	15.2% 増
◆ 営業利益高	: 前期比	40.9% 増
◆ 経常利益高	: 前期比	53.1% 増
◆ 当期純利益	: 前期比	47.4% 増

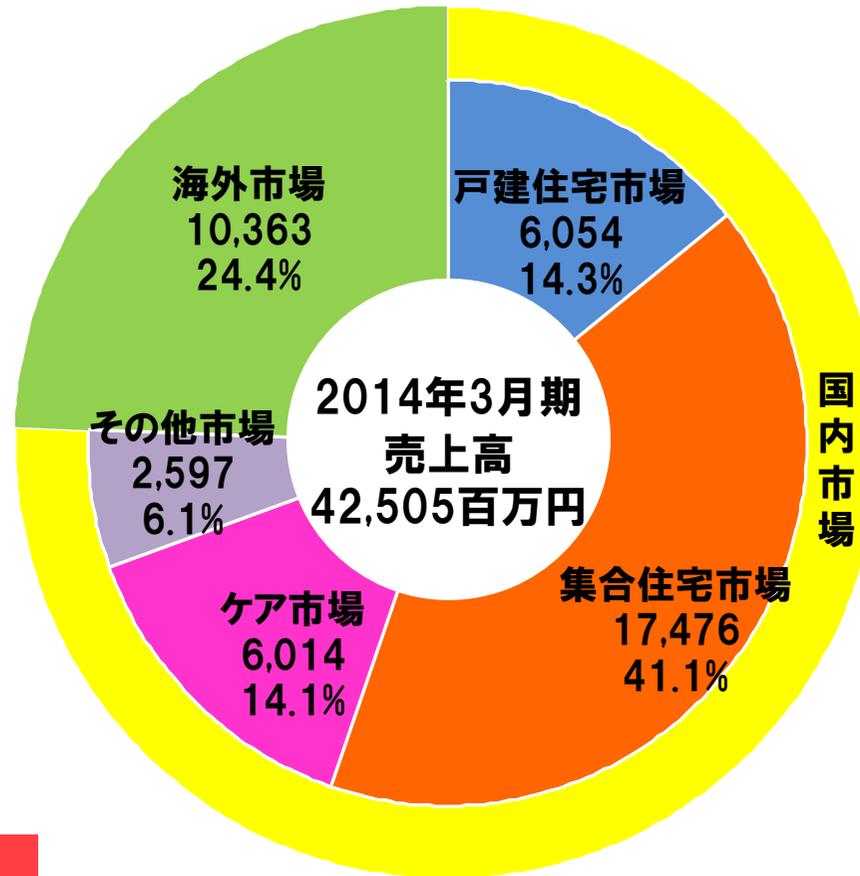
営業利益について



ポイント

営業利益は、研究開発費及び販管費が増加となったが、国内リニューアル市場や海外市場の売上増加により、9.8億円の増益。

販売市場別

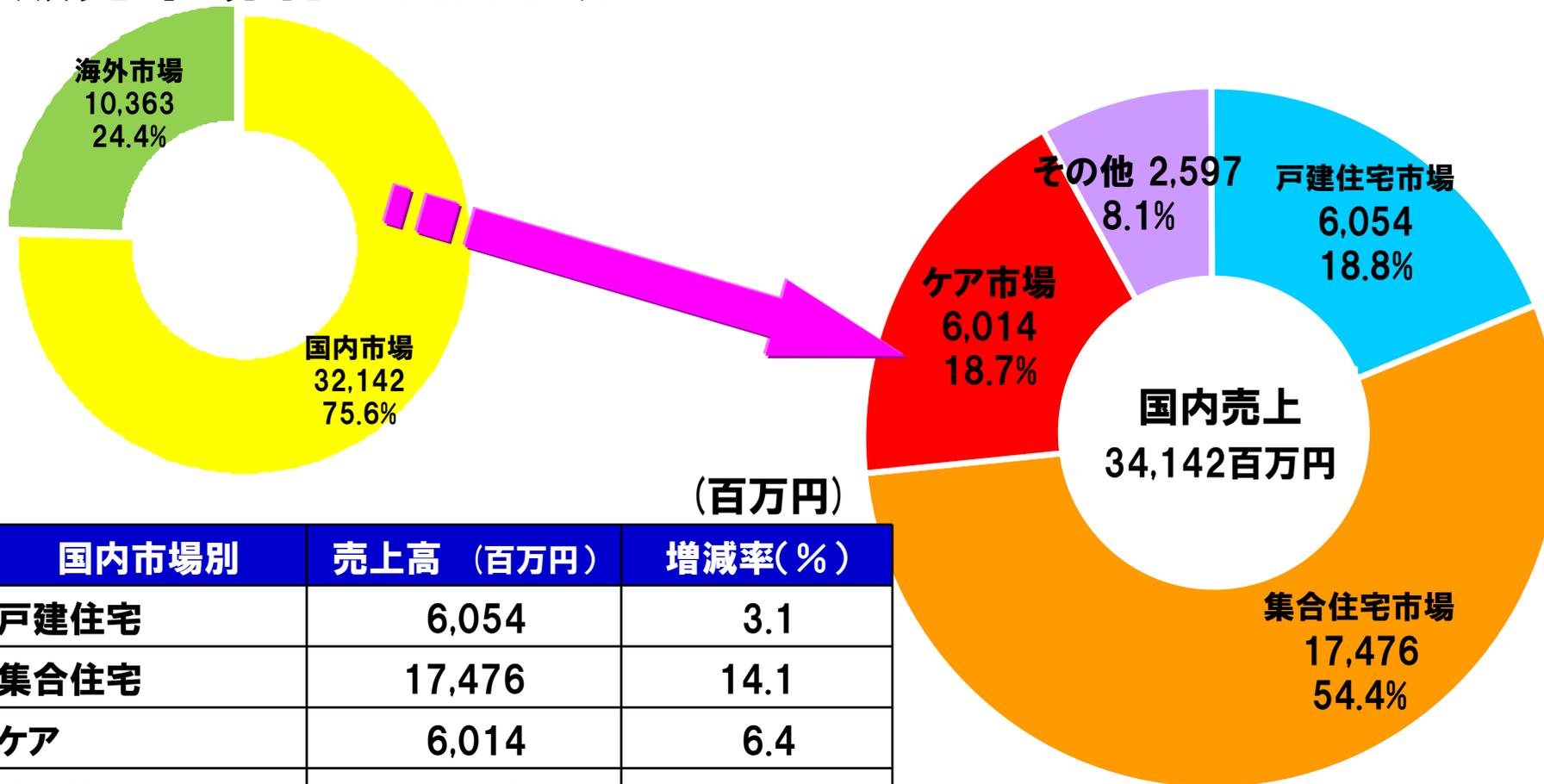


補 足

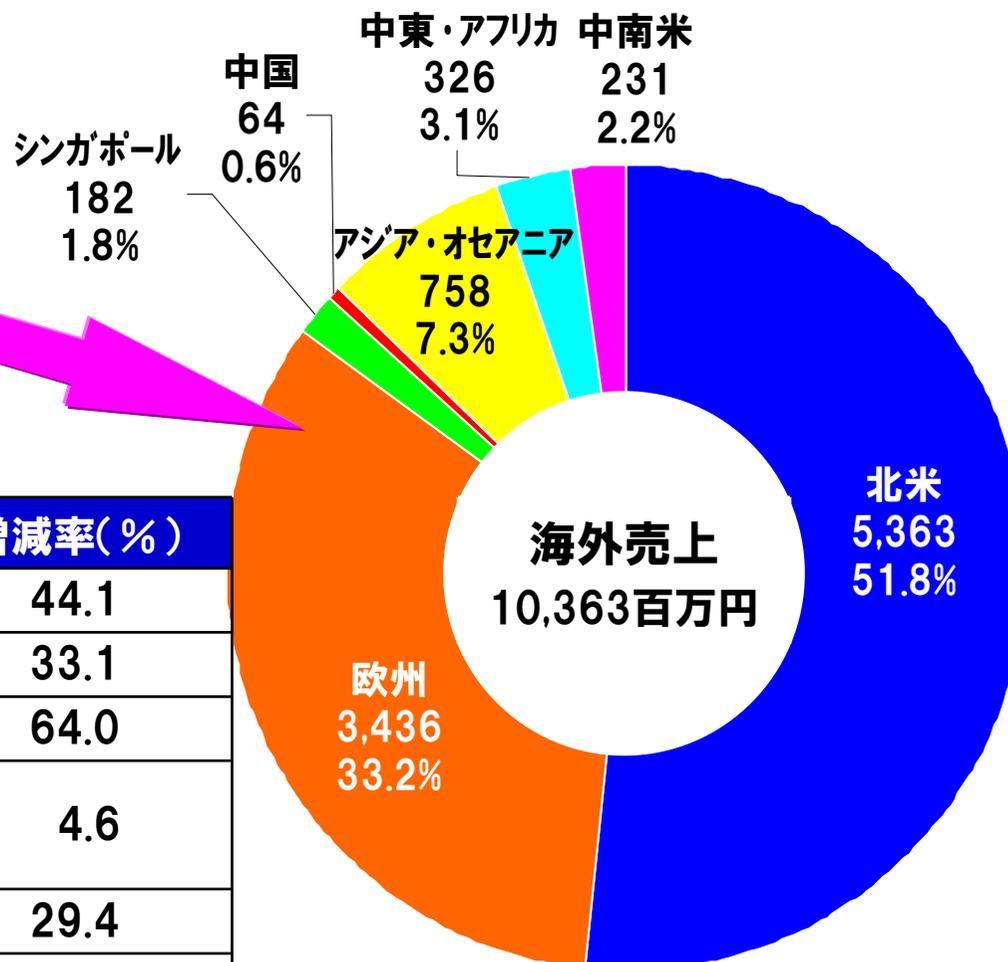
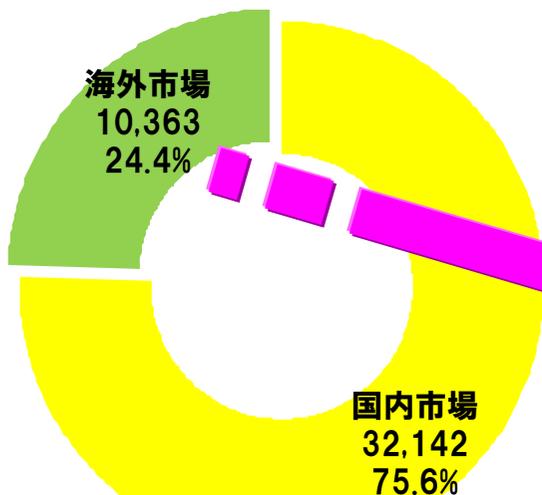
連結売上の増加について(前期比56.2億円の増加、+15.2%)

- ◆国内: 27.8億円 (+ 9.5%)
- ◆海外: 28.3億円 (+37.7%)
- ◆合計: 56.2億円 (+15.2%)

販売市場別—国内市場



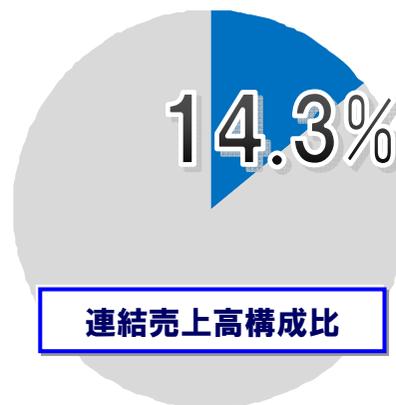
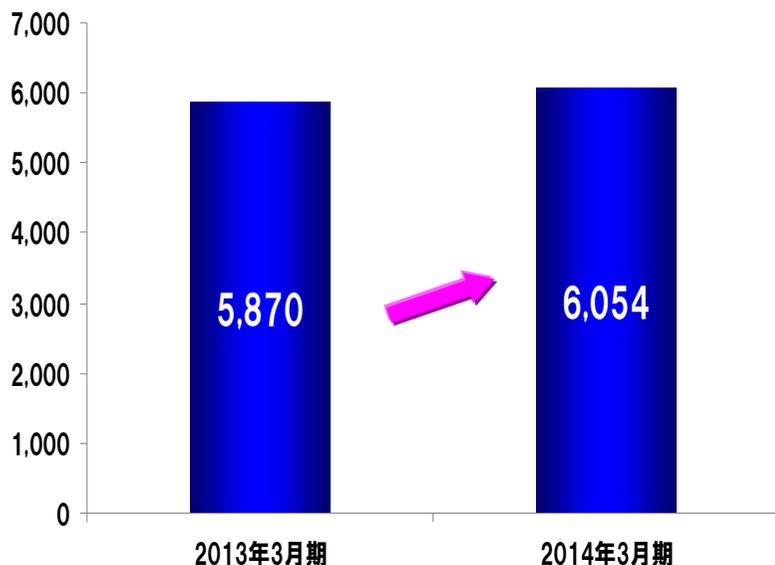
販売地域別－海外地域別



海外地域別	売上高 (百万円)	増減率(%)
北米	5,363	44.1
欧州	3,436	33.1
シンガポール	182	64.0
中国	64	4.6
アジア・オセアニア	758	
中東・アフリカ	326	29.4
中南米	231	24.2
合計	10,363	37.7

市場概況 一戸建住宅市場

(百万円)



(百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減率
一戸建住宅市場	5,870	6,054	3.1%

新築市場

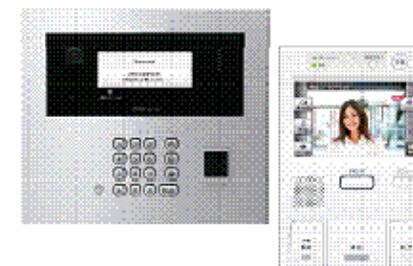
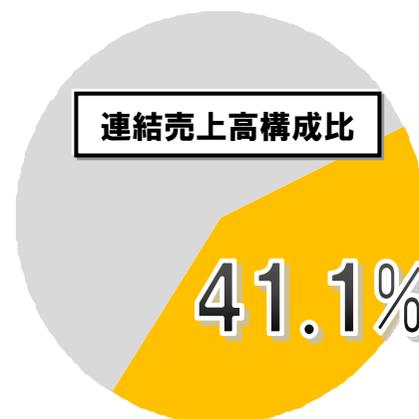
- ・新設一戸建住宅の着工戸数は前期と比較して増加。
- ・大手ハウスメーカーでの仕様化が継続し、テレビドアホンの販売は増加。
- ・録画機能付テレビドアホンの需要増から販売が増加。

リニューアル市場

- ・ROCO録画等を家電量販店へ積極的に提案するも他社製品攻勢が激しく販売が減少。

市場概況－集合住宅市場

(百万円)



(百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減率
集合住宅市場	15,310	17,476	14.1%

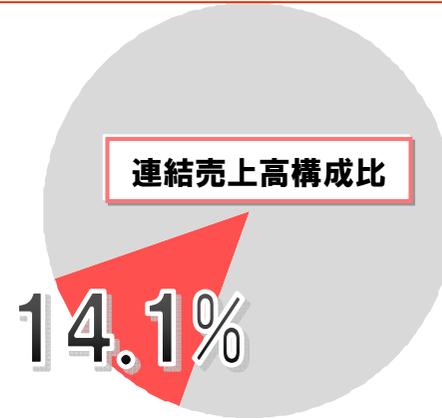
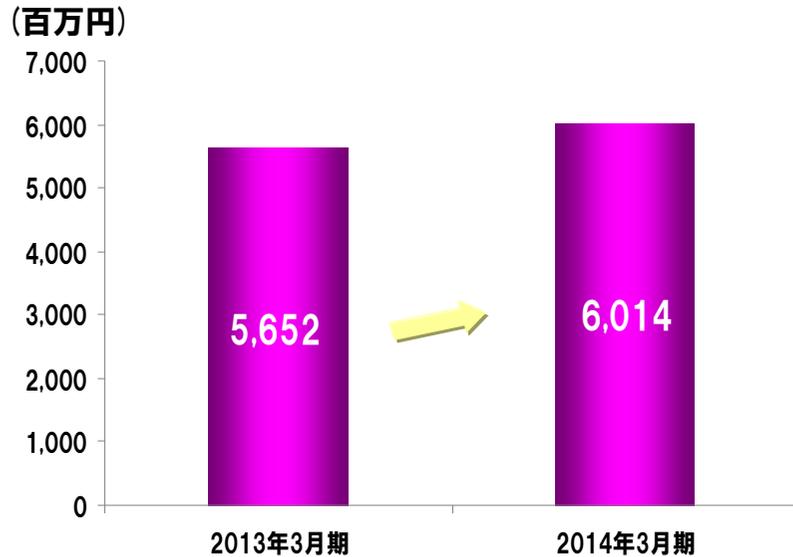
新築市場

- ・新設共同住宅着工戸数は前期と比較して増加。
- ・これまでの大手デベロッパーへの採用活動の効果とOEM機器の販売台数が増加し、売上に貢献。

リニューアル市場

- ・主力地域への専任担当配置の施策やアフターサービス情報との連携による管理会社や管理組合への積極的な営業活動が功を奏し、売上は好調に推移。
- ・市場ニーズに対応した商品「らくタッチ」の市場導入が貢献し、売上は増加。
- ・消費税増税前の駆け込み需要の影響から売上は増加。

市場概況－ケア市場



(百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減率
ケア市場	5,652	6,014	6.4%

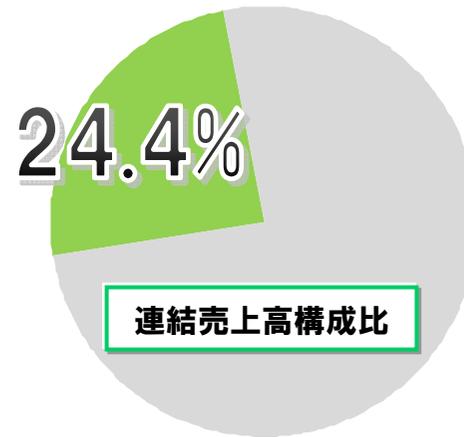
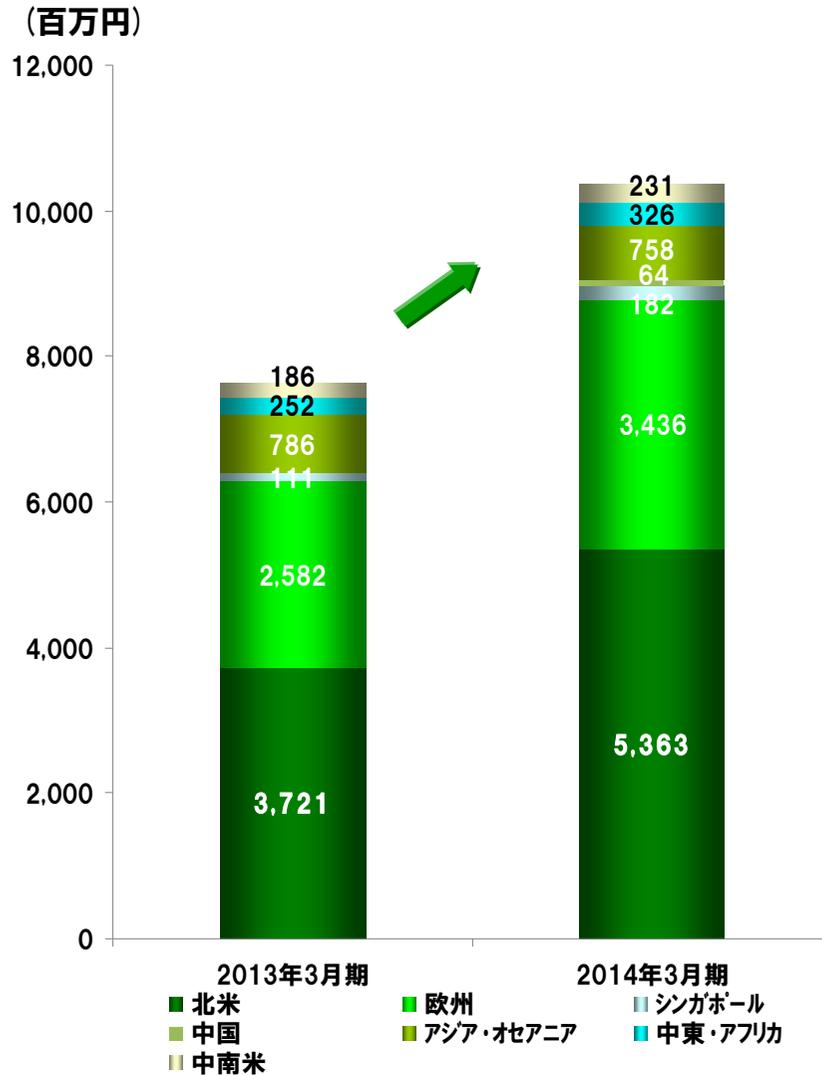
新築市場

- ・「介護基盤緊急整備等臨時特例交付金」による事業の実施期限延長から、高齢者施設への販売が大幅に増加。
- ・「地域医療再生計画」に伴う、新築病院着工件数の増加とともに、中核病院への積極的な提案活動が功を奏しナースコールシステムの販売が増加。

リニューアル市場

- ・病院における修繕計画の延期等により、販売が減少したが、継続的に提案活動を行ってきた大型高齢者施設の受注や高齢者住宅における監視用PC及びソフトウェアの更新等により、売上はほぼ横ばい。

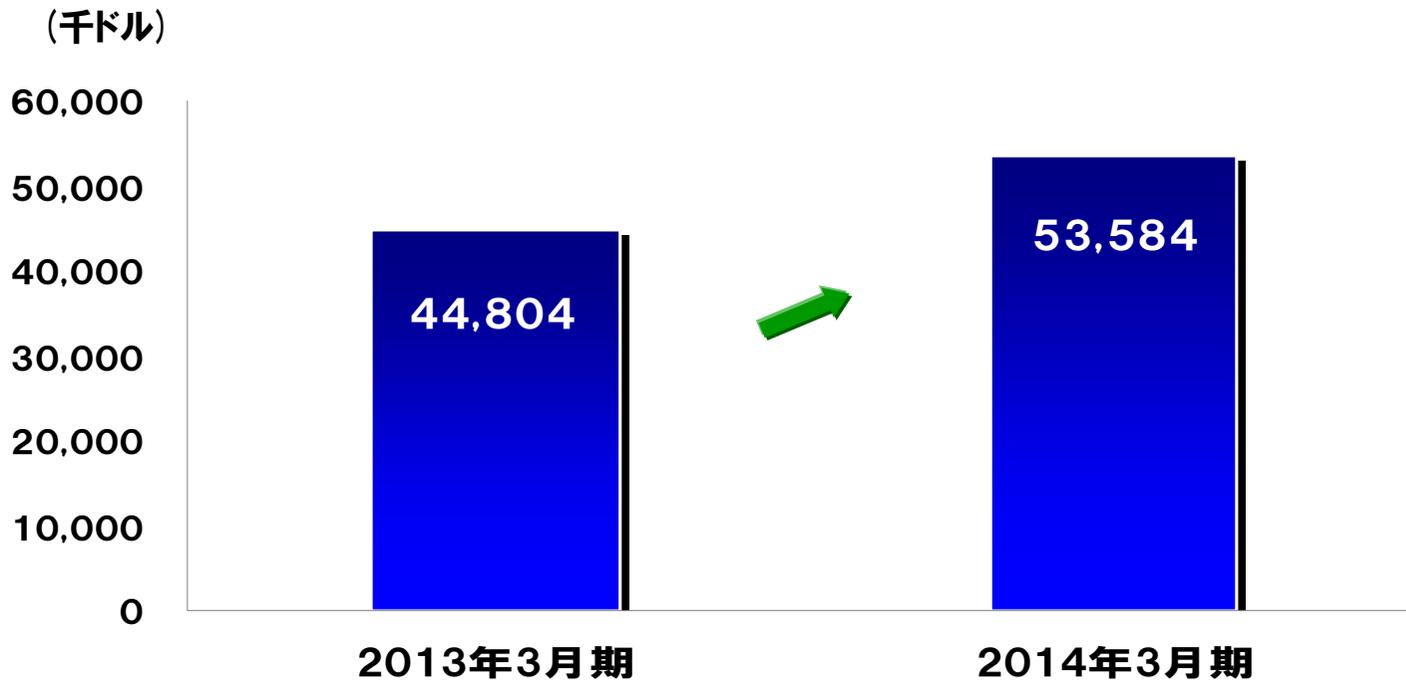
市場概況－海外市場



(百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減率
北米	3,721	5,363	44.1%
欧州	2,582	3,436	33.1%
シンガポール	111	182	64.0%
中国	—	64	4.6%
アジア・オセアニア	786	758	
中東・アフリカ	252	326	29.4%
中南米	186	231	24.2%
合計	7,528	10,363	37.7%

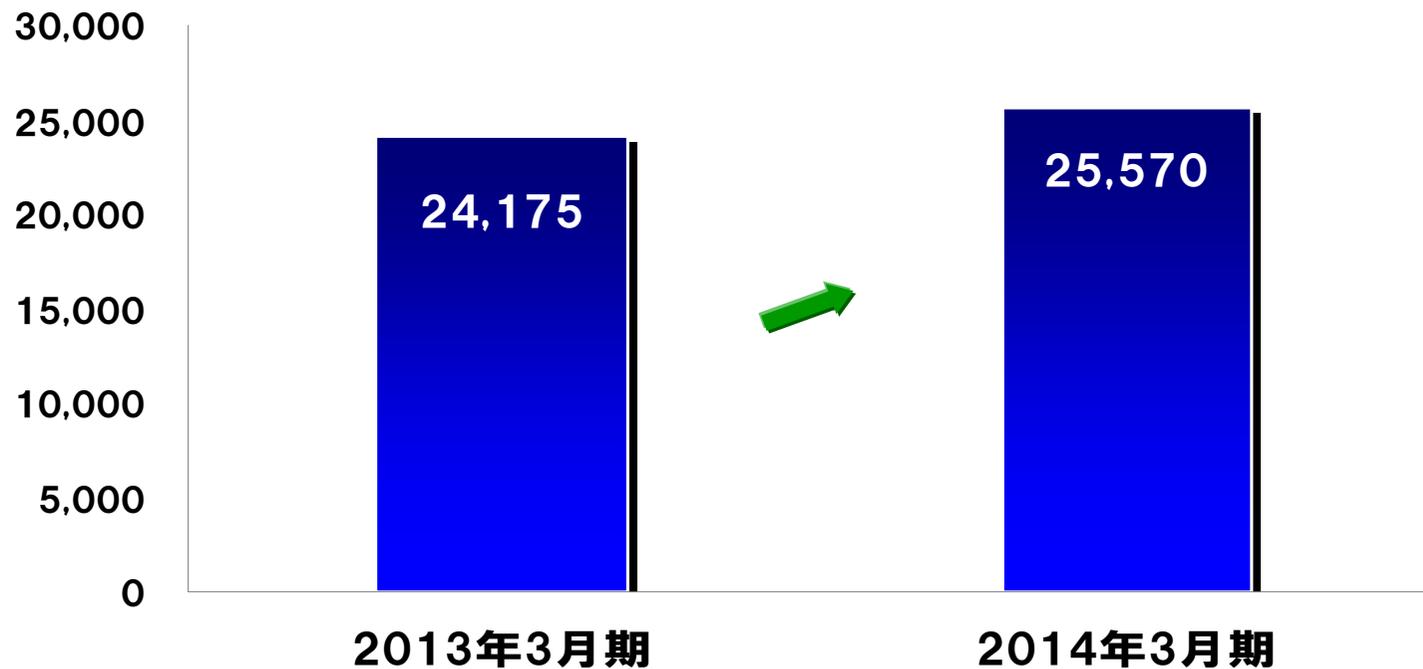
市場概況－北米市場



北米市場		(千ドル)	増加率
2013年3月期	2014年3月期		
44,804	53,584 (過去最高)	19.6%	物件受注活動として、IS-IPシステムやJMシリーズの積極的な提案活動を進める中、米国社会におけるセキュリティニーズの高まりを受け、販売が増加し、現地通貨ベースで前期比19.6%の増加。

市場概況－欧州市場

(千ユーロ)



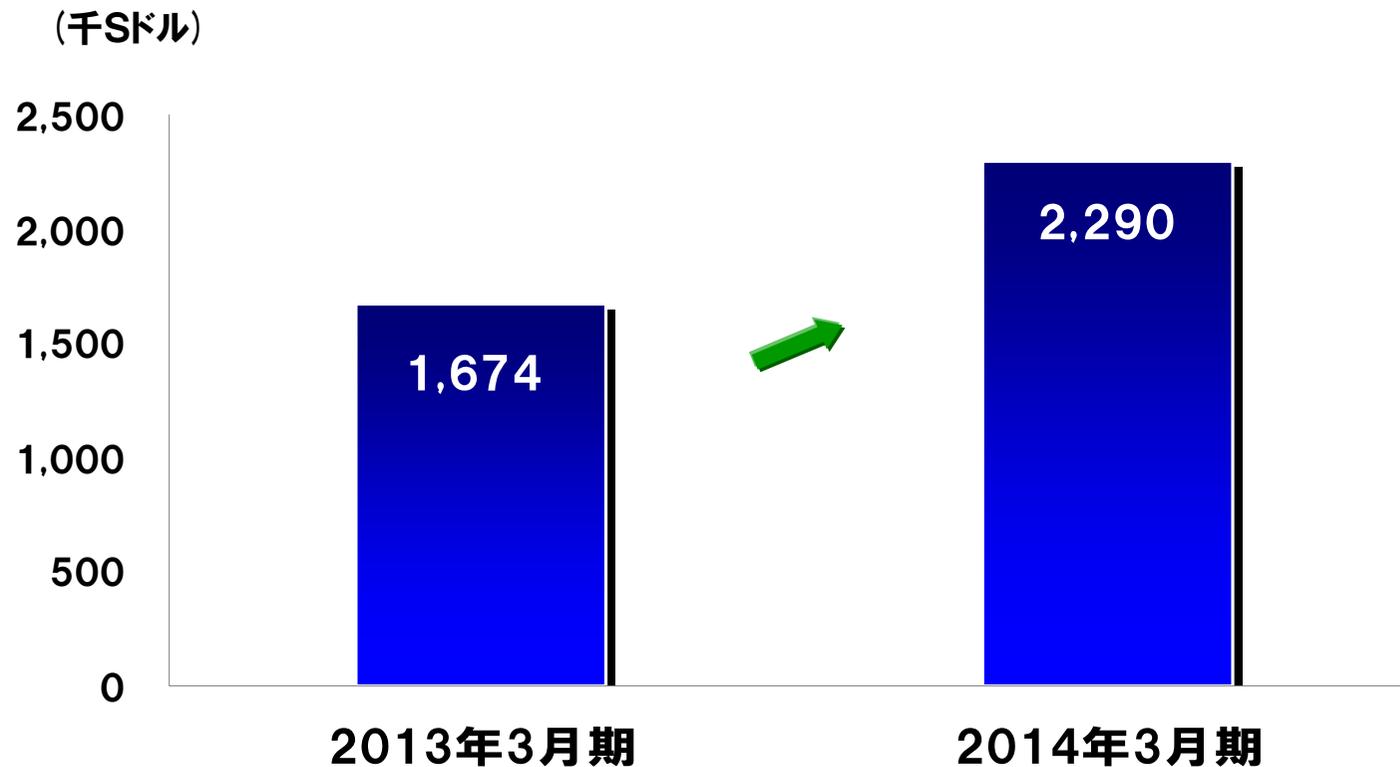
欧州市場

(千ユーロ)

2013年3月期	2014年3月期	増加率
24,175	25,570 (過去最高)	5.8%

景気の低迷から、厳しい環境が続く中、主要国であるフランスでの住宅着工戸数は減少したが、新商品JOシリーズの販売が好調に推移し、現地通貨ベースでは前期比5.8%の増加。

市場概況－シンガポール・マレーシア市場



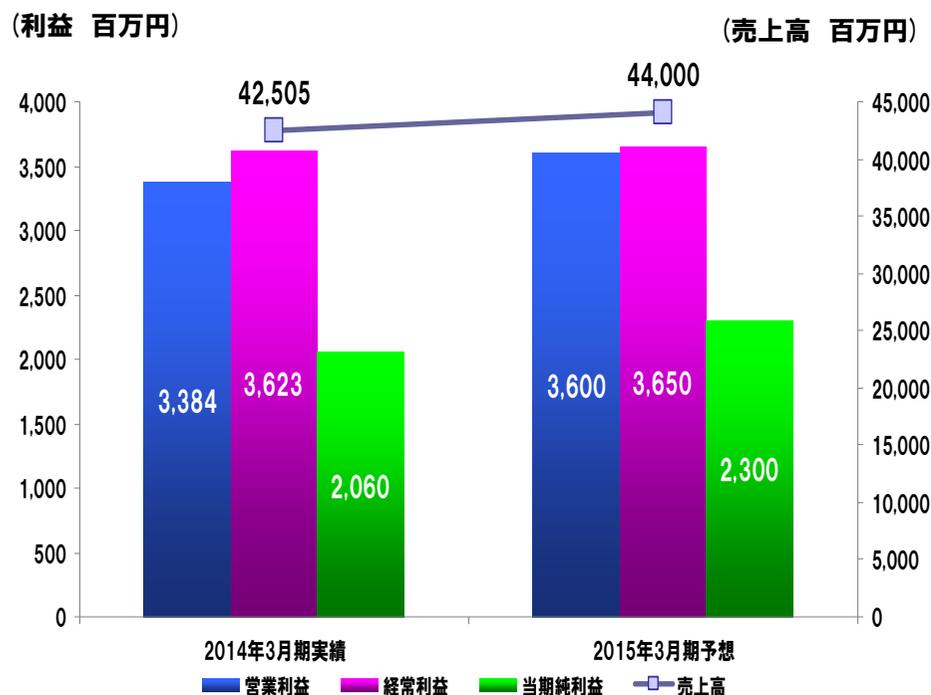
シンガポール・マレーシア市場 (千シンガポールドル)

2013年3月期	2014年3月期	増加率
1,674	2,290	36.8%

- ・主力商品である「GTシリーズ」の販売が好調であり、当初の計画を上回る形で推移。
- ・マレーシア市場でも好調な不動産景気の後押しがあり、「GTシリーズ」の販売が好調に推移。

2015年3月期(連結)業績見通し

2015年3月期業績の予想



	(百万円)	
	2014年3月期実績	2015年3月期予想
売上高	42,505	44,000
営業利益	3,384	3,600
経常利益	3,623	3,650
当期純利益	2,060	2,300

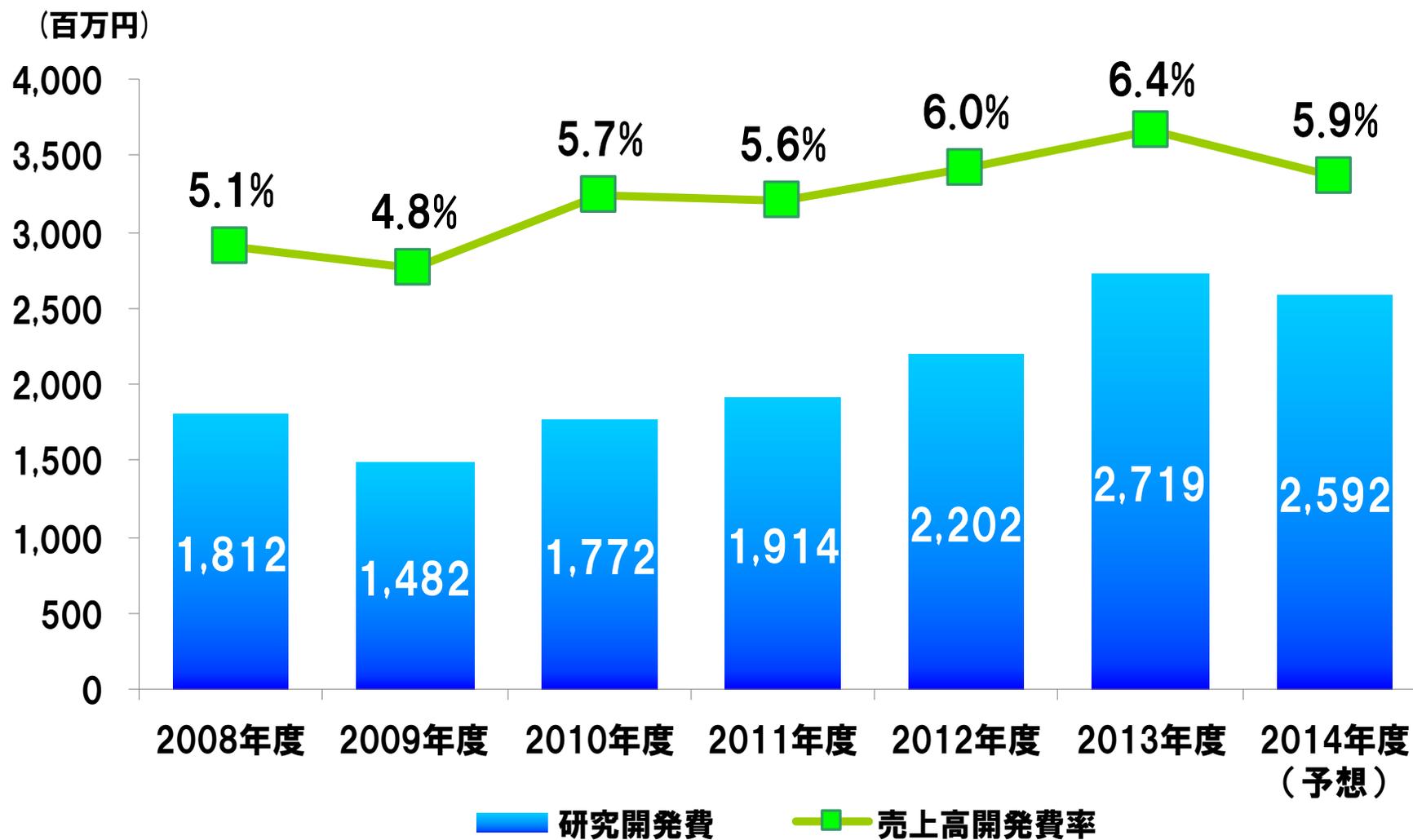
<ポイント>

- 海外市場での施策とネットワーク対応商品の市場導入で増収を見込む。
 - 消費税率引き上げ前の駆け込み需要等の影響により、住宅着工戸数やリニューアル物件の減少が懸念される。
 - 海外市場での物件受注活動と販路拡大を推進することで、売上増加を見込む。
 - 付加価値の高いネットワーク対応商品の市場導入を推進し、売上増加を見込む。
- 増益要因は、増収による利益の増加
 - 増収による利益の増加とコスト競争力の強化を推進し、営業利益、経常利益、当期純利益すべてにおいて増益を見込む。

<2015年3月期業績アップ率>

- ◆ 連結売上高 : 前期比 3.5%増
- ◆ 営業利益高 : 前期比 6.4%増
- ◆ 経常利益高 : 前期比 0.7%増
- ◆ 当期純利益 : 前期比 11.6%増

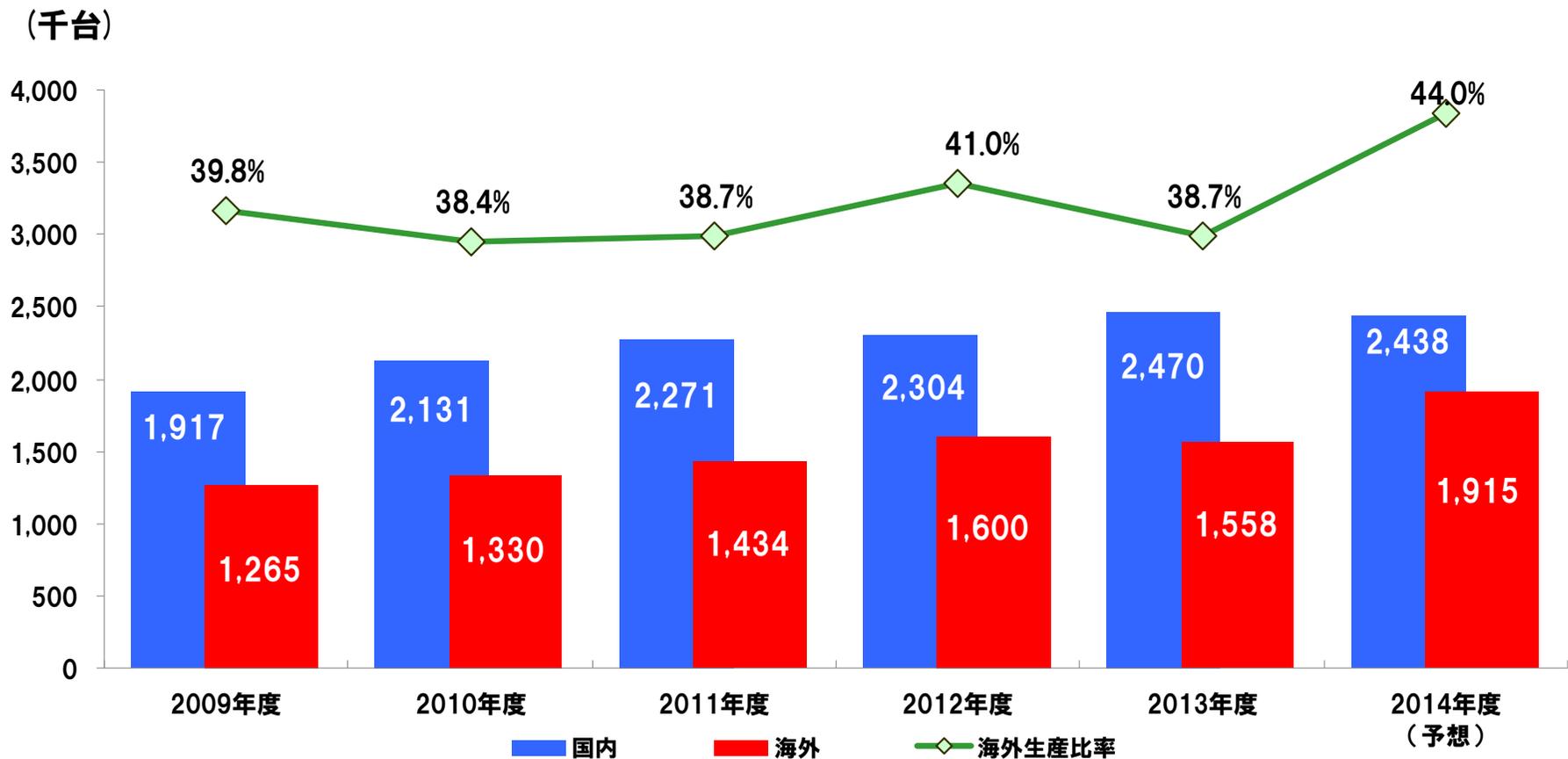
研究開発の状況



生産体制の状況

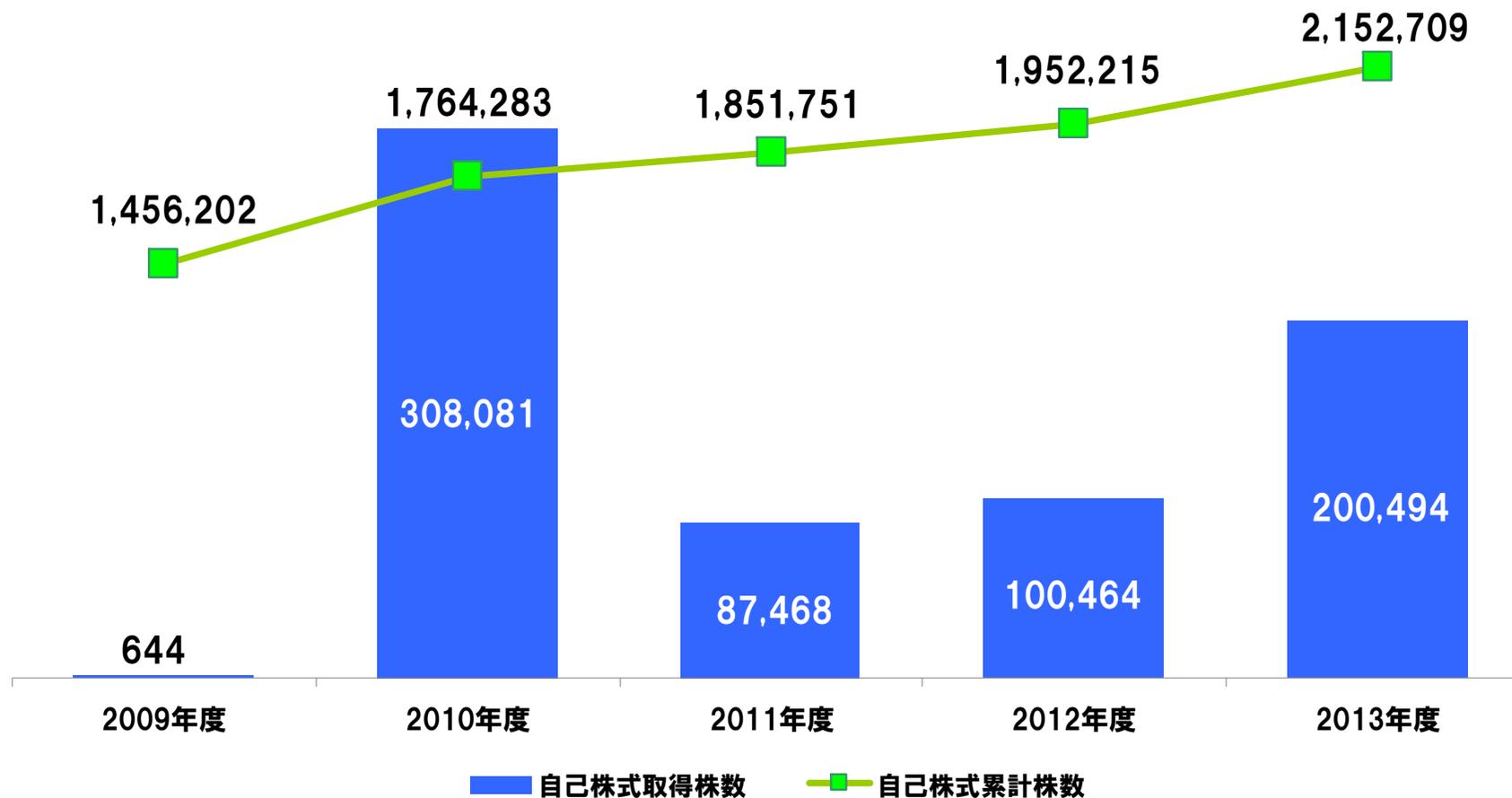
海外生産比率(台数)目標は44.0%

中期経営計画では50%(2015年度)を目指す。



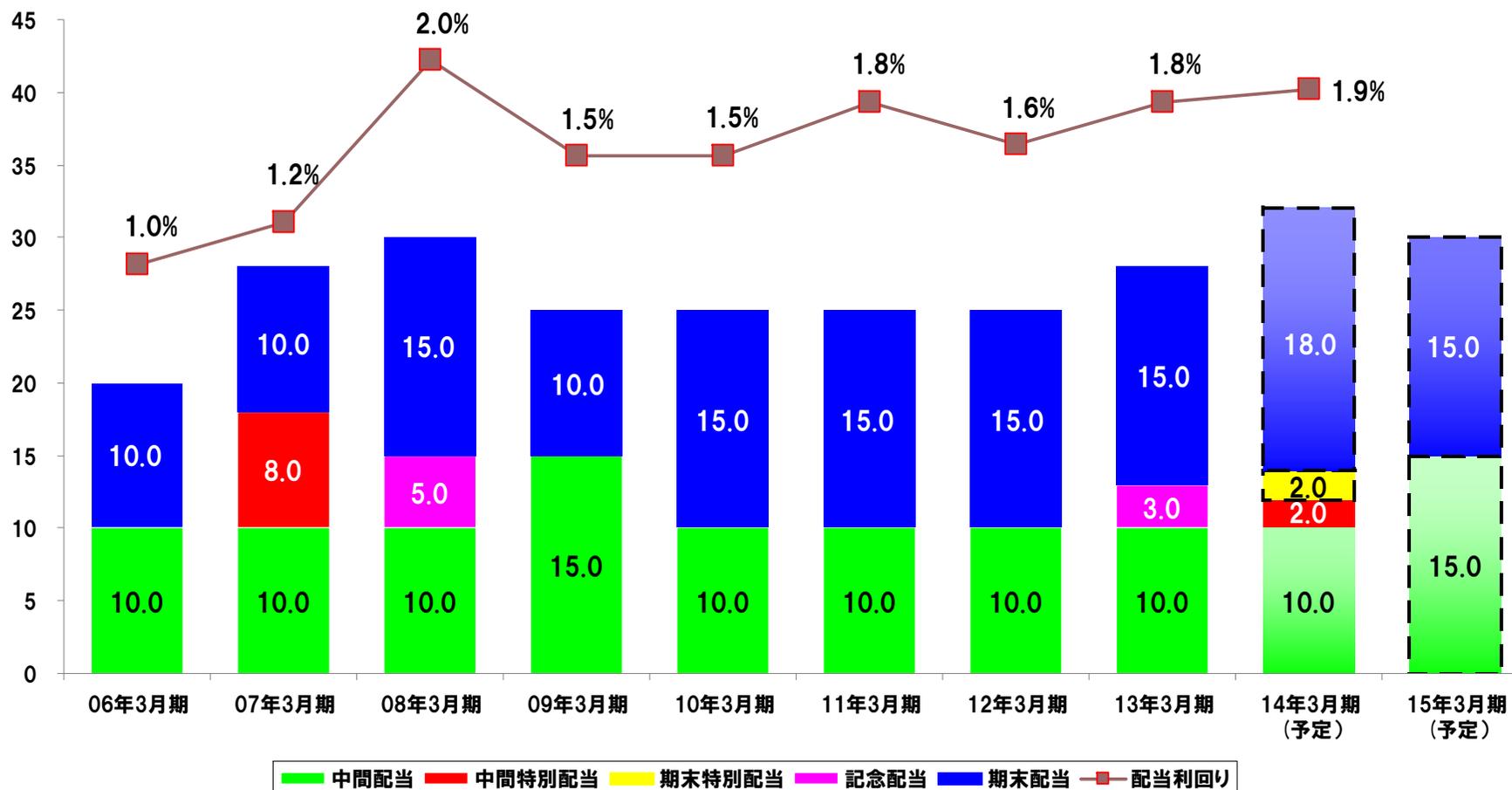
自己株式の取得状況

(単位:株)



配当の推移

(円)



中期経営計画において当社グループが目指す姿

2013年度～2015年度

「**輝け！アイホン ～ 真の輝きを求めて ～**」

中期経営計画の基本方針として、「**利益体質の強化**」を掲げ 以下の重点戦略を推進中です。

重点戦略

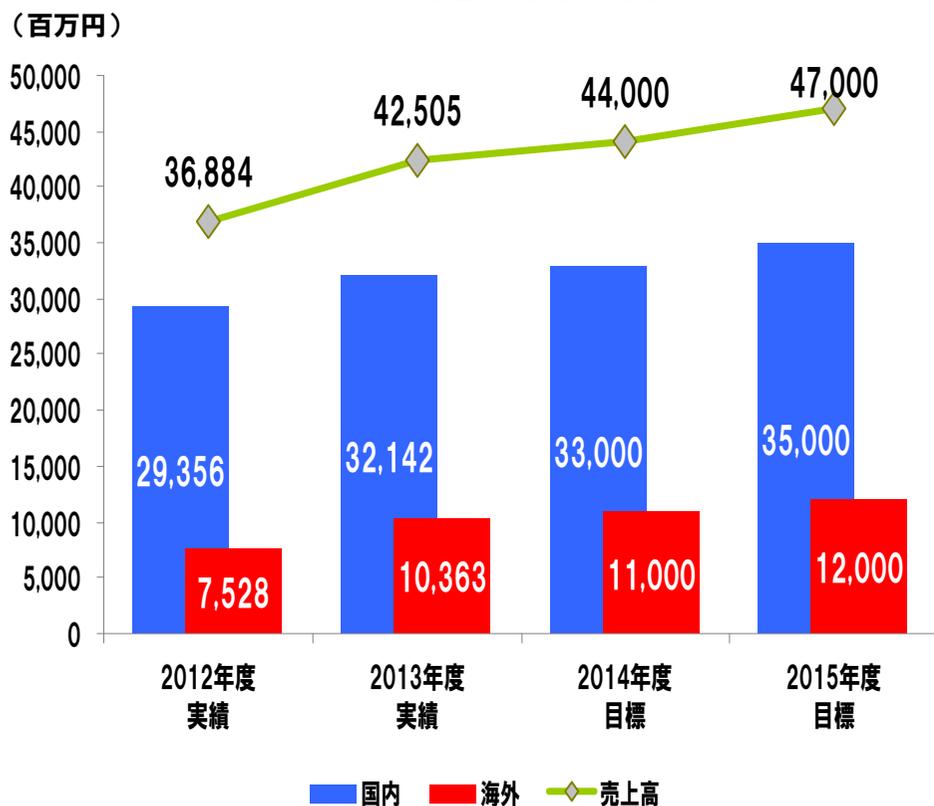
- (1) グローバル化の推進
- (2) ネットワーク対応の市場創造
- (3) コスト競争力の強化
- (4) 生産技術の改革
- (5) 源流管理による品質保証
- (6) 企業体質の強化

当社グループ一丸となって今回の中期経営計画を推進することで、社会やステークホルダーにとって真に輝くアイホンを目指します。

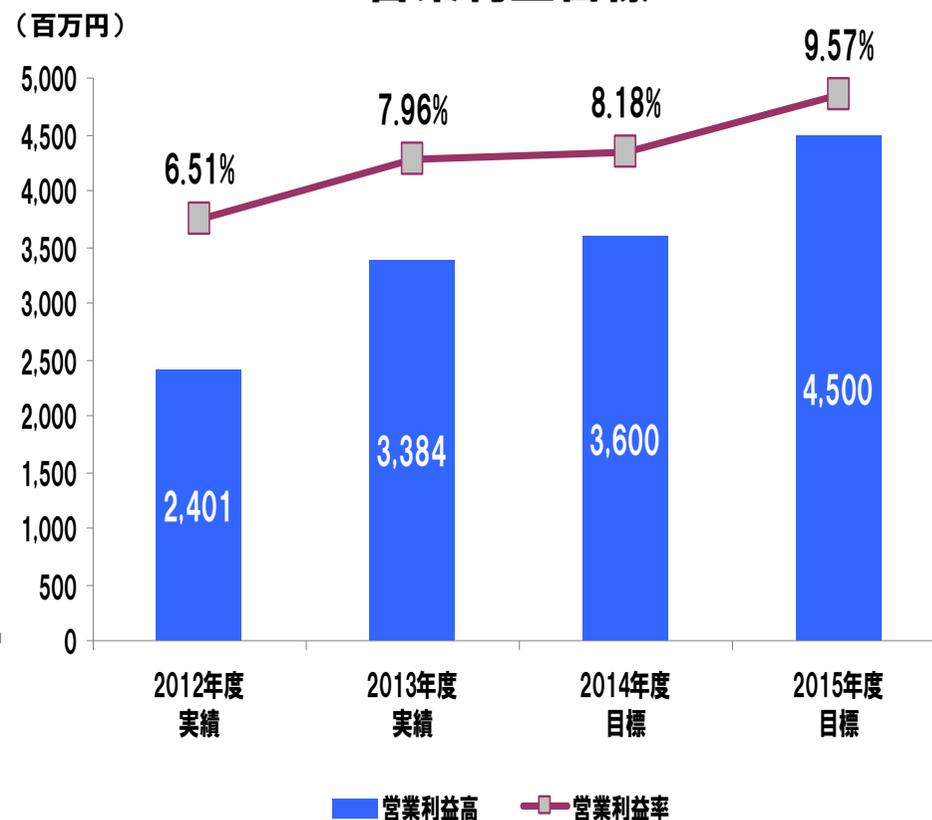
中期経営計画目標数値

当社は、2014年3月期において中期経営計画に掲げる初年度の業績目標を達成。
業績結果及び経営環境の変化等を勘案し、2014年5月1日に第5次中期経営計画の修正を公表。

売上高目標

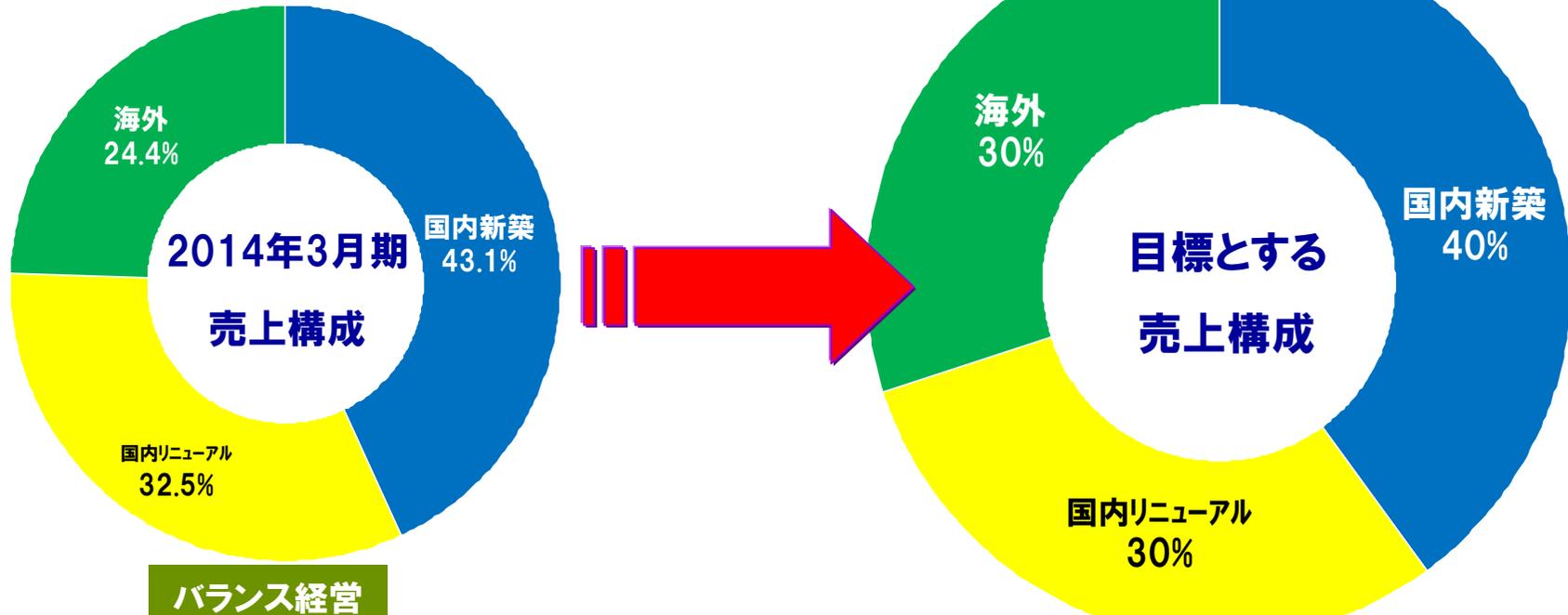


営業利益目標



(2014.5.1公表分)

バランス経営について



バランス経営

国内新築市場に偏った売上構成を見直し、リニューアル市場や海外市場での売上を拡大することでバランス経営を進める。

選択と集中

バランス経営を進めるために、商品戦略や投資等において、選択と集中を進める。

世界3大デザイン賞「iF design Award」を受賞！ 海外の戸建市場向け戦略商品「JOシリーズ」



JO series

AIPHONE

S-FREE COLOR VIDEO INTERCOM JO series

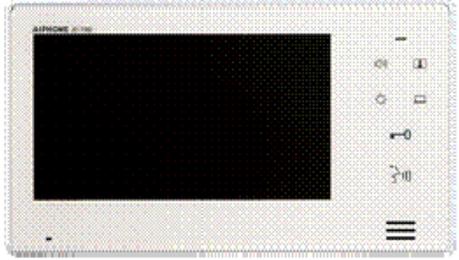
AIPHONE

欧州市場で価格競争が激化する中、欧州の競合他社に先がけ、7型ワイド画面のテレビドアホン「JOシリーズ」を2013年8月に発売いたしました。

今回この商品のデザインが大きく評価され、1953年から続くドイツのデザイン賞で、国際的に最も権威のある賞のひとつである「iF design Award」を受賞することが決定いたしました。



ドアホン子機



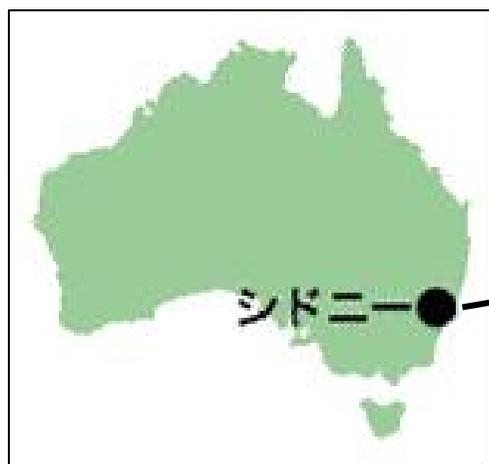
モニター付親機

オセアニア駐在事務所の開設(2014年3月1日)

- ・ オーストラリア及びニュージーランドにおける市場の拡大を目指し、オーストラリアにおける営業の拠点づくりを行うため、オセアニア駐在事務所を開設いたしました。
- ・ オセアニア駐在事務所では、常駐活動拠点として市場調査等を通じて各種の情報提供を積極的に進めてまいります。

【名称】アイホン株式会社 オセアニア駐在事務所

(AIPHONE CO., LTD. Oceania Representative Office)



Communication
&
Security

アイホン

弊社ホームページ

<http://www.aiphone.co.jp/>

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。